


ティーチング・ポートフォリオ兼教員プロフィール

	<p>保育科 専任講師</p> <p>荻原千史 (おぎはら ちふみ)</p> <p>OGIHARA Chifumi</p>
所属	保 育 科
学位	修士 (音楽) (東京音楽大学)
資格・免許	中学校教諭専修免許状 (音楽) 高等学校教諭専修免許状 (音楽)
学歴・職歴	<p><学歴></p> <p>東京音楽大学音楽学部音楽学科器楽専攻 卒業 (学士 (音楽))</p> <p>東京音楽大学大学院音楽研究科器楽専攻鍵盤楽器研究領域 修士課程 修了 (修士 (音楽))</p> <p><職歴></p> <p>山梨学院短期大学保育科 専任講師</p>
担当科目	音楽Ⅰ 音楽Ⅱ 子どもと表現 子どもと表現特論 西洋音楽の世界 基礎演習 卒業演習Ⅰ・Ⅱ 社会人基礎力育成講座Ⅰ・Ⅱ
専門分野	音楽表現
現在の研究テーマ	生活や遊びにおける子どもの表現の育ちについて
競争的資金等の研究課題	—
所属学会	日本音楽教育学会 日本ダルクローズ音楽教育学会 日本音楽療法学会
メッセージ	音楽は子どもたちが自分を表現できる一つ的手段です。一人ひとりが奏でる音や歌の中に、言葉では表現できない子どもたちの想いが隠れているかもしれません。学生の中に様々なことにチャレンジして、子どもたちの可能性を広げられる素敵な先生をお互いに目指しましょう。
教育	
2025年4月～2026年3月	
教育方針	限られた期間となる大学生活の中で、学生が学ぶことの面白さや喜びを味わえるようにサポートしていきたい。また、子どもたちの豊かな感性が育める知識・実践力・人間力を備えた保育者養成を目指したい。

教育（つづき）

2025年4月～2026年3月

授業	授業の工夫	<p><音楽Ⅰ></p> <p>複数担当で進める科目のため、学生の取組状況や理解度等を教員間で共有し、適切な支援が行えるように尽力した。また、継続的な学習が特に必要とされる弾き歌い技能の獲得や授業への集中力持続を目的として、90分授業を前半後半に分け、実技と理論の両方の学習を1コマの中に取り入れた。実技では、取り組んだ楽曲の復習やその後の学習に繋がるように、学生自らが各曲の学習ポイントを記録する学習曲リストを使用した。さらに、人前での演奏に慣れることや他者と音楽する場を増やすためにも、全員が演奏発表できる機会を設けた。</p> <p><音楽Ⅱ></p> <p>音楽Ⅰにある記述に加え、学生と共に保育現場における子どもの表現活動を見学し、本科目の学習内容を保育者がどのように現場で活用しているか理解する機会を提供した。</p> <p><子どもと表現></p> <p>表現領域の導入にあたる科目として、表現のはじまりや意義について理論的な学びを深める傍ら、グループワーク形式にて実際の表現遊びに取り組み、生活の中で育まれる感性と表現についての理解を深めた。学生の身に付けた知識と実践が繋がることを意図して、理論的学習と実践的学習の両方を毎時間取り入れて授業を進めた。</p> <p><西洋音楽の世界></p> <p>様々な西洋音楽作品を視聴しながら、その時代背景や作曲背景等にも触れ、作品を多角的に考察する力の育成に努めた。また、学生自身が関心のある西洋音楽についてプレゼンテーションを行い、自らの考えを表現する力を養う機会も設けた。</p>
	授業改善のための取組	<p>前年度の授業評価アンケートを見直し、特に到達目標の低かった項目について、授業内容の見直しや教授法の改善を図っている。また、学生の理解度を把握するため、習得状況の聞き取り調査を実施している。それに応じて、授業の始めに前回の復習を行ってから新しい学習内容へ進むようにし、学習の定着率が高まるよう努めている。さらに、学生へ新しい情報の提供ができるように、研究会や学会への参加、保育・教育現場に出向くこと等も行っている。</p>

教育 (つづき)		
2025 年 4 月～2026 年 3 月 (つづき)		
ゼミ	ゼミ活動 (卒業演習) (修了研究)	<p><卒業演習Ⅰ> 学生一人一人の興味関心のある分野において知識を深められるよう、図書館やデータベース等を多く利用し、様々な研究に触れる機会を設けた。多くの研究に知ること、自らの研究テーマの目的や具体的な内容、方法を主体的に設定できるよう促した。また、学生同士で研究過程を共有する機会をつくり、互いに刺激し合いながら、より良い研究を目指せるように努めた。</p> <p><卒業演習Ⅱ> 前年度の活動をもとに、個人またはグループで関心のある研究テーマを設定し、卒業レポートの作成に取り組んだ。全体・グループ・個別に分けて指導を行うことで、一人一人の進捗状況に応じた支援が行えるよう努めた。</p> <p><修了研究> 担当なし</p>
	卒業レポート・ 修了研究テーマ	<p><卒業レポートテーマ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・若年層における生活習慣の現状と課題－短期大学生を対象とした文献調査を中心に－ ・異年齢の関わりの中で育ちあう子どもたち－異年齢保育の観察からみえてきたこと－ ・保育士不足と実習経験の関連－保育学生の調査から－ ・山梨県における保育ニュースの動向調査－山梨日日新聞の情報をもとに－ ・保育における不適切なかかわりの意識調査－保育学生へのアンケートを通して－ ・実習前後における保育者像の変化－保育学生へのアンケート調査を通して－ ・保育学生の SNS 利用と対人関係について－アンケート調査をもとに－ ・養育環境と子どもの性格の関連について－BIG5 尺度を用いた調査を通じて－ ・好きな童謡と歌い継ぎたい童謡の関連－保育学生への調査から－
課外活動	ウィンドブラスアンサンブル顧問	
2025 年 3 月以前		
主な教育業	<p>2019・2023 年度</p> <p>卒業演習において、ゼミ生が県内の保育・障害児施設において音楽表現活動の企画及び実践を行った。これらの活動は山梨学院学生チャレンジ制度に採択された。</p>	

研究		
2025年4月～2026年3月		
タイトル（単著・共著）	年月日	発行所、発表雑誌、発表学会等
（学術論文） 「子どもと表現の研究動向に関する一考察－3歳未満に着目して－」 （単著）	2026年3月	山梨学院短期大学紀要 第46巻
2025年3月以前（主なもの）		
タイトル（単著・共著）	年月日	発行所、発表雑誌、発表学会等
（学術論文） 「幼稚園生活における子どもの表現－ごっこ遊びにみられる音楽に関する表現に着目して－」 （単著）	2020年3月	山梨学院短期大学紀要 第40巻
（学術論文） 保育における音楽教育を通して育つ「聴く力」とは－乳幼児の聴力の発達に着目して－ （単著）	2018年2月	山梨学院短期大学紀要 第38巻
（芸術発表） 「Spring Concert～春の調べに寄せて」（演奏及び解説） （共同）	2023年 2月26日	meets music 主催
（芸術発表） 「財団設立20周年記念 八王子市芸術文化会館 ステップアップコンサート」（第1部 演奏及び解説） （単独）	2022年 6月11日	公益財団法人八王子市学園都市文化ふれあい財団主催
（芸術発表） 「八王子市芸術文化会館ロビーコンサート」（演奏及び解説） （単独）	2021年 3月27日	公益財団法人八王子市学園都市文化ふれあい財団主催
（芸術発表） 「山梨県立美術館ロビーコンサート」（演奏及び解説） （単独）	2021年 3月14日	山梨県立美術館主催
（芸術発表） 「デュオリサイタル・ピアノとヴァイオリンの対話」（演奏及び解説） （共同）	2019年 11月2日	meets music 主催

研究 (つづき)		
2025年3月以前 (主なもの) (つづき)		
タイトル (単著・共著)	年月日	発行所、発表雑誌、発表学会等
(芸術発表) 「デュオリサイタル・ロマンス」(演奏及び解説) (共同)	2018年 10月21日 (山梨) 2018年 9月17日 (東京)	meets music 主催
(芸術発表) 「ニューイヤーコンサート」(演奏)	2018年 1月13・14日	山梨交響楽団 主催
社会貢献		
産官学連携、高大連携、研修会講師、学外委員会活動、学会活動、講演会、等		
2025年4月～2026年3月		
・山梨音楽療法研究会運営委員 (2023年4月～現在に至る)		
2025年3月以前 (主なもの)		
<ul style="list-style-type: none"> ・FM甲府「楽しい子育て～未来へのかけはし～」講師 (2023年10月～11月) ・やまなし未来創造教育プログラム委員会 委員 (2023年4月～2024年3月) ・第14・15回南アルプス市民音楽祭 児童合唱伴奏員 (2022年10月・2023年9月) ・第8回 日本音楽療法学会 関東支部都県別講習会 (山梨) 運営スタッフ (2022年10月) ・山梨県立笛吹高等学校 連携事業 講演 (2021年3月・2022年3月・2023年3月) ・南アルプス市内児童合唱団参加イベント伴奏 (アドブレーション・共立・NTT-F 共同事業体主催「ウラシマコタロウものがたり」等) (2021年) ・第41回山の都ふれあいコンサート 運営補助 (2021年11月) ・山梨市岩手公民館主催 岩手地区の高齢者及び小学生に向けた演奏 (2018年・2019年) ・後屋敷公民館主催 歌の会 講師 (2016～2018年・年1回) ・三富町公民館主催 地域高齢者合唱団 講師 (2013年9月～2017年11月・秋期～冬期) ・御坂町公民館主催 地域高齢者合唱団 講師 (2013年9月～2017年11月・秋期) 		
受賞 ※個人、所属団体		
—		